



れんげ畑

鴻巣市立鴻巣中央小学校
平成31年5月号

学校教育目標
キャッチフレーズ
ホームページ

【知】友と学ぶ子 【徳】心の豊かな子 【体】体をきたえる子
「はきはき・にこにこ・きびきび」
kochuo-e.konosu.ed.jp

児童数375人

忙しい→心を・亡くす

校長 清水 励

澄み切った青い空に木々の新緑が映える季節となりました。過日行われました授業参観・懇談会、PTA総会・歓送迎会には、多くの保護者の方々の御参加をいただき、ありがとうございました。

いよいよ5月です。「平成」が終わり「令和」の幕開けとなります。これから始まる「令和」は、今の子供たちが活躍する時代です。積み残されている様々な課題を一つでも改善・解決し、子供たちにとって「令和の時代」がより明るいものとなるよう、学校教育の役割を今一度確認し、着実な教育活動に取り組んでまいりたいと思います。

さて、学校にも様々な解決すべき課題があります。その一つに「**教職員の働き方改革**」があります。これは、学校の仕事内容・方法等を見直し、教職員の負担軽減を図ることによって、**より質の高い学校教育の実現と維持を目指す**ものです。本校でも、朝は7時前後に出勤し退勤は夜9時過ぎ、土日・休日の職員室には必ず数名が仕事をしており、学校に来ない教職員も家へ仕事をもち帰り……ということが常態化しています。ここ20年前くらいの間、急激に「学校の多忙化」が進んだように思います。

なぜ、学校がこのような状況になってしまったのでしょうか。いくつかの原因が考えられますが、大本は「**学校は子供たちを育てる場所**」という、学校の特殊性が関係しているようです。学校は、これまで「子供のためになる」と思われることを、次から次へと教育活動として取り入れてきました。しかし、その半面、すでに取り組んできた活動をスクラップすることをとても苦手としています。スクラップが苦手の理由としては、それぞれの活動には当然「よさ」があること、また、教育的な効果（＝子供の成長）は、その一つの活動からだけでなく他の様々な活動等と関連して表れてくるといことがあげられます。教育というものが、「ここを押したら、ここが光った！」という単純なものならば簡単なのでしょうが…。

昨年度、「業務改善の先にあるもの」について、本校教職員で話し合いを行いました。そして、よりよい教育活動を行うための業務改善の必要性について共通理解を図りましたが、具体的な対策については、今後も引き続き検討してまいります。本市教育委員の先生よりお聞きした「**先生方がやりたいことに使える時間を確保すること**」の実現は、必ずや子供たちのより良き成長につながるものと確信しております。保護者や地域の皆様には、益々の御理解と御協力を、よろしくお願いいたします。

地域の皆様へ

鴻巣市教育委員会より

鴻巣市立小・中学校への留守番電話の導入について

教職員の業務負担軽減の取組の一環として、本市におきましても昨年9月より、各小・中学校に「留守番電話」を導入しました。

つきましては、教職員の勤務時間外は、原則として「留守番電話」による対応となりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

なお、鴻巣中央小学校の教職員の勤務時間は、午前8時15分～午後4時45分ですが、当面の間、留守番電話は下記の時間内といたします。

留守番電話 午後6時～（明朝）午前7時30分